化学品の名称: CarpetPro Cleaner iCapsol, Tablet RM 760
SDS整理番号: -
作成日: 2022-12-23
改訂日: 2026-09-15

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	CarpetPro Cleaner iCapsol, Tablet RM 760
供給者の会社名称	ケルヒャージャパン株式会社
住所	〒222-0032　神奈川県横浜市港北区大豆戸町639番地3
電話番号	045-777-7410
電子メールアドレス	service.jp@karcher.com
緊急連絡電話番号	045-777-7410
推奨用途	スプレー抽出用洗浄剤
使用上の制限	推奨用途以外で使用しないこと。

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分1
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	区分3（気道刺激性）
水生環境有害性　短期（急性）	区分3

記載のない危険有害性は、区分に該当しない、或いは分類できない。

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語　危険

危険有害性情報
- 重篤な眼の損傷
- 呼吸器への刺激のおそれ
- 水生生物に有害

注意書き

【安全対策】
- 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
- 取扱い後は手及び接触部位をよく洗うこと。眼を触らないこと。
- 屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
- 環境への放出を避けること。
- 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面/聴覚保護具を着用すること。

【応急措置】
- 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- 眼に入った場合：医療処置を受けること。
- 眼に入った場合：すぐに水で数分間洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

安全データシート

気分が悪い時は、医療処置を受けること。
【保管】　換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
施錠して保管すること。
【廃棄】　内容物/容器を国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。
GHS分類に関係しない又はGHSで扱われない他の危険有害性：本製品には、有機ハロゲン化合物（AOX）、硝酸塩、重金属化合物は含有されていない。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別　混合物

化学名又は一般名	ＣＡＳ番号	濃度又は濃度範囲	官報公示整理番号
			化審法・安衛法
炭酸ナトリウム	497-19-8	30～40%	1-164
クエン酸	77-92-9	>20%	2-1318
シュウ酸二水和物	6153-56-6	1～<3%	情報無し
エトキシ化アルコール（Ｃ＝９～１１）	68439-46-3	1.0～<2.5%（代表値1.8%）	7-97
ドデシル硫酸ナトリウム	151-21-3	0.2～<1%	2-1679
α－ヒドロ－ω－（トリデシル（分枝型）オキシ）ポリ（オキシエチレン）	69011-36-5	0.2～<1%	7-97
ｓｅｃ－アルカン（Ｃ＝１４～１７）スルホン酸のナトリウム塩	97489-15-1	0.2～<1%	2-1640
備考:　労働安全衛生法の通知対象物質の濃度が幅表示の場合は、営業秘密である場合を含む。			

4. 応急措置

吸入した場合　吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
直ちに医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合　直ちに医師に連絡すること。
眼に入った場合　眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
直ちに医師に連絡すること。
飲み込んだ場合　直ちに医師に連絡すること。
応急措置をする者の保護に必要な注意事項　医療スタッフに物質が何であるかを伝え、自身の保護措置にも気をつけさせる。
医師に対する特別な注意事項　症状に応じた治療を行う。

5. 火災時の措置

安全データシート

適切な消火剤	周囲の状況を考慮して適切な消火方法（二酸化炭素、粉末消火剤、噴霧水等）を選択すること。 大火災の場合：噴霧水、耐アルコール性泡消火剤
使ってはならない消火剤	棒状注水放水
火災時の特有の危険有害性	火災時に刺激性、腐食性及び/又は毒性のガスを発生するおそれがある。
特有の消火方法	危険でなければ火災区域から容器を移動する。 消火水や希釈水の流出により環境汚染を引き起こさないように注意する。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置	適切な保護具を着用し、可能な限り風上から行う。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	作業者は適切な保護具（8. ばく露防止及び保護措置の項を参照）を着用し、風上から作業する。 直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。 関係者以外の立ち入りを禁止する。
環境に対する注意事項	環境への放出を避けること。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	安全にできるなら漏洩を止める。 漏出物をできるだけ回収すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策	屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。 環境への放出を避けること。 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面/聴覚保護具を着用すること。 食料品、飲み物は持ち込まないこと。
安全取扱注意事項	眼、皮膚、衣類につけないこと。粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。 取扱い後は手および接触部位をよく洗うこと。
接触回避	「10. 安定性及び反応性」を参照。

保管

安全な保管条件	換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。 施錠して保管すること。 涼しいところに置くこと。 食料品、飲料から離して保管すること。 内容物を別の容器に小分けまたは移し替える場合、作業者に当該製品の名称および危険有害性を明示すること。
安全な容器包装材料	情報無し

安全データシート

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度、濃度基準値、許容濃度(ばく露限界値、生物学的ばく露指標)

管理濃度	情報無し
濃度基準値	情報無し
許容濃度	
ACGIH	
シュウ酸二水和物	TWA 1mg/m^3 STEL 2mg/m^3
生物学的許容値	情報無し
設備対策	局所排気装置の設置、設備の密閉化または全体換気を適正に行うことが望ましい。 作業場所ではシャワー、手洗い、洗顔設備を設け、その位置を明瞭に表示する。
保護具	
呼吸用保護具	室内の換気が十分な場合には、特に必要なし。
手の保護具	不浸透性の保護手袋
眼、顔面の保護具	密閉ゴーグル (EN 166)
皮膚及び身体の保護具	必要に応じて、保護衣服、安全靴(不浸透性、耐薬品等)を使用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態・色	無色固体錠剤
臭い	緑茶臭
融点/凝固点	情報無し
沸点又は初留点及び沸点範囲	情報無し
可燃性	情報無し
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	上限界：情報無し； 下限界：情報無し
引火点	引火しない
自然発火点	自然発火しない
分解温度	情報無し
pH	8～9 (10%水溶液)
動粘性率	適用されない
溶解度	水：可溶
n-オクタノール/水分配係数(log値)	情報無し
蒸気圧	蒸発しない
密度及び/又は相対密度	バルク密度：890 kg/m^3
相対ガス密度	適用されない
粒子特性	情報無し

安全データシート

10. 安定性及び反応性

反応性	危険な反応は知られていない。
化学的安定性	仕様に従い使用すれば、熱分解は生じない。
危険有害反応可能性	危険な反応は知られていない。
避けるべき条件	情報無し
混触危険物質	情報無し
危険有害な分解生成物	危険な分解生成物は知られていない。

11. 有害性情報

急性毒性

経口：	製品：入手データに基づくと、分類基準を満たしていない。 炭酸ナトリウム： LD_{50} ラット=2800 mg/kg シュウ酸二水和物： 区分4 エトキシ化アルコール（Ｃ＝９～１１）： LD_{50} ラット> 5000 mg/kg ドデシル硫酸ナトリウム： LD_{50} ラット=1200 mg/kg α－ヒドロ－ω－（トリデシル（分枝型）オキシ）ポリ（オキシエチレン）： ATE ラット=500 mg/kg
経皮：	製品：入手データに基づくと、分類基準を満たしていない。 炭酸ナトリウム： LD_{50} ウサギ> 2000 mg/kg シュウ酸二水和物： LD_{50} ウサギ=20000 mg/kg
吸入：	製品：入手データに基づくと、分類基準を満たしていない。
皮膚腐食性/刺激性	製品：入手データに基づくと、分類基準を満たしていない。
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	製品：区分1 炭酸ナトリウム：区分2 クエン酸：区分2 シュウ酸二水和物：区分1 エトキシ化アルコール（Ｃ＝９～１１）：区分2 ドデシル硫酸ナトリウム：区分1 α－ヒドロ－ω－（トリデシル（分枝型）オキシ）ポリ（オキシエチレン）：区分1
呼吸器感作性	製品：入手データに基づくと、分類基準を満たしていない。
皮膚感作性	製品：入手データに基づくと、分類基準を満たしていない。
生殖細胞変異原性	製品：入手データに基づくと、分類基準を満たしていない。
発がん性	製品：入手データに基づくと、分類基準を満たしていない。
生殖毒性	製品：入手データに基づくと、分類基準を満たしていない。

安全データシート

特定標的臓器毒性（単回ばく露）	製品：区分3（気道刺激性） クエン酸：区分3（気道刺激性）
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	製品：入手データに基づくと、分類基準を満たしていない。
誤えん有害性	製品：入手データに基づくと、分類基準を満たしていない。
その他	内分泌かく乱物質（LIST　II）に該当するサリチル酸ベンジルを微量含有する。

12. 環境影響情報

生態毒性	水生環境有害性　短期（急性）： 製品：区分3 炭酸ナトリウム： LC_{50}（96hr）Lepomis macrochirus=300 mg/L EC_{50}（48hr）Ceriodaphnia dubia=200～227 mg/L クエン酸： EC_{50}（24hr）Daphnia magna=1535 mg/L シュウ酸二水和物： EC_{50}（48hr）Daphnia magna 162.2 mg/L エトキシ化アルコール（Ｃ＝９～１１）： LC_{50}（96hr）Oncorhynchus mykiss > 1～10 mg/L EC_{50}（48hr）Daphnia magna > 1～10 mg/L EC_{50}（72hr）藻類> 1～10 mg/L α－ヒドロ－ω－（トリデシル（分枝型）オキシ）ポリ（オキシエチレン）： LC_{50}（96hr）Leuciscus idus > 1～10 mg/L EC_{50}（48hr）甲殻類> 1～10 mg/L EC_{50}（72hr）水生植物> 1～10 mg/L 水生環境有害性　長期（慢性）： 製品：入手データに基づくと、分類基準を満たしていない。 ドデシル硫酸ナトリウム：区分3
残留性・分解性	情報無し
生物蓄積性	情報無し
土壌中の移動性	情報無し
オゾン層への有害性	モントリオール議定書の付属書に列記された規制物質を含有しない。
その他	内分泌かく乱物質（LIST　II）に該当するサリチル酸ベンジルを微量含有する。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	内容物/容器を国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしく

安全データシート

	は地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。 家庭ごみと一緒に廃棄しないこと。
汚染容器及び包装	容器は、内容物を完全に除去した後、リサイクルするか、国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。 容器及び包装等をリサイクルする場合は、ヒトの健康、安全及び環境への影響に十分配慮すること。

14. 輸送上の注意

国連番号	非該当
品名（国連輸送名）	非該当
国連分類	非該当
容器等級	非該当
海洋汚染物質	非該当
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策	運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
国内規制	陸上輸送：消防法、労働安全衛生法、毒物及び劇物取締法等に該当する場合は、それぞれの該当法律に定める運送方法に従うこと。 海上輸送：船舶安全法に定めるところに従うこと。 航空輸送：航空法に定めるところに従うこと。

15. 適用法令

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律（化審法）	優先評価化学物質 エトキシ化アルコール（Ｃ＝９～１１） ドデシル硫酸ナトリウム α－ヒドロ－ω－（トリデシル（分枝型）オキシ）ポリ（オキシエチレン） ｓｅｃ－アルカン（Ｃ＝１４～１７）スルホン酸のナトリウム塩
特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律（化管法）	第一種指定化学物質 エトキシ化アルコール（Ｃ＝９～１１）（政令名称：アルファ－アルキル－オメガ－ヒドロキシポリ（オキシエチレン）（アルキル基の炭素数が９から１１までのもの及びその混合物であって、数平均分子量が１，０００未満のものに限る。））
労働安全衛生法（安衛法）	名称等を表示すべき危険物及び有害物 規則別表第2の1189　炭酸ナトリウム（政令名称：炭酸ナトリウム（令和7年4月1日施行）） 規則別表第2の1952の2　エトキシ化アルコール（Ｃ＝９～１１）（政令名称：ポリ（オキシエチレン）アルキルエーテル（アルキル基の炭素数が

安全データシート

	９から１１までのもの及びその混合物に限る。）（令和9年4月1日施行）） 名称等を通知すべき危険物及び有害物 規則別表第2の1189　炭酸ナトリウム（政令名称：炭酸ナトリウム（令和7年4月1日施行）） 規則別表第2の1952の2　エトキシ化アルコール（Ｃ＝９～１１）（政令名称：ポリ（オキシエチレン）アルキルエーテル（アルキル基の炭素数が９から１１までのもの及びその混合物に限る。）（令和9年4月1日施行）） 皮膚等障害化学物質 炭酸ナトリウム
毒物及び劇物取締法（毒劇法）	非該当
海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律	有害液体物質Z類　くえん酸（濃度が七十重量パーセント以下のものに限る。）

16. その他の情報

参考文献
- JIS Z 7252：2025
- JIS Z 7253：2025
- 許容濃度等の勧告(日本産業衛生学会)
- ACGIH
- 原料メーカーSDS

記載内容の問い合わせ先
ケルヒャージャパン株式会社
住所：〒222-0032 神奈川県横浜市港北区大豆戸町639番地3
電話番号：045-777-7410
FAX番号または電子メールアドレス：service@jp.kaercher.com
緊急連絡電話番号：045-777-7410

声明：本SDSは、現時点で入手出来る資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、情報の正確さを保証するものではありません。すべての化学品には未知の有害性がありうるため、取扱には細心の注意を払ってください。